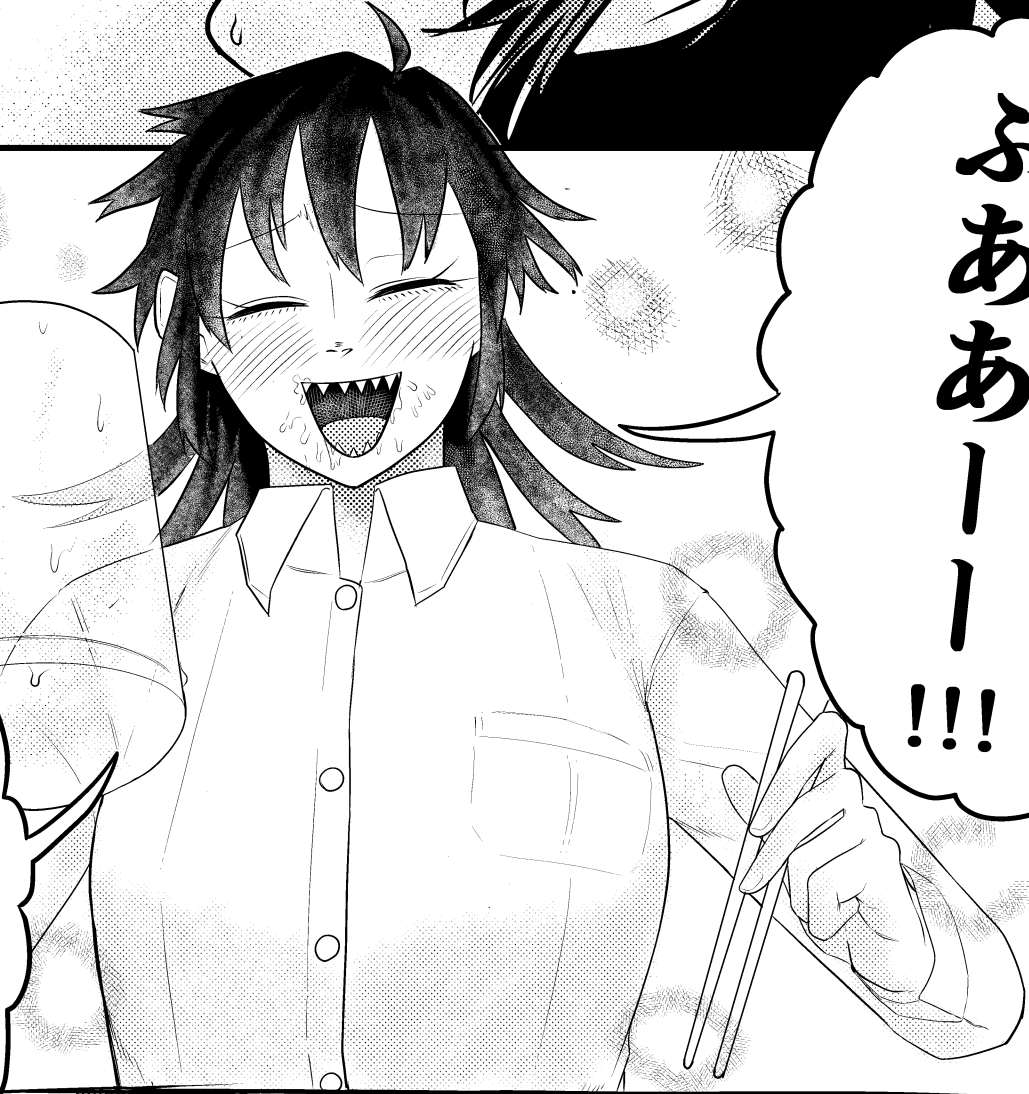




ふああー！！

タイシヨー！

も一杯！

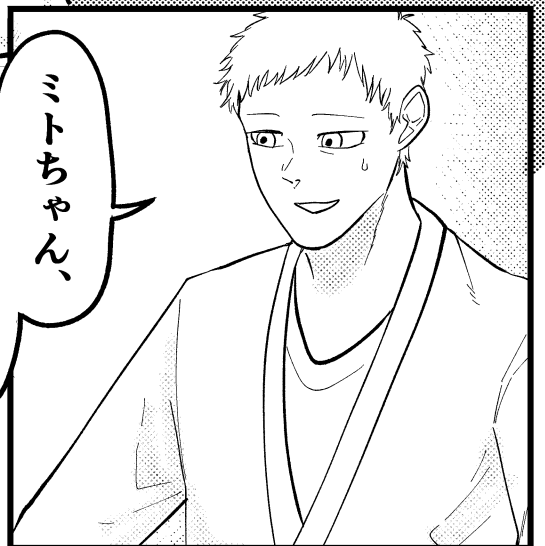


私はもう…

タイシヨー
いんだよ…

ちよっとペース
早すぎだよ？

ミトちゃん、

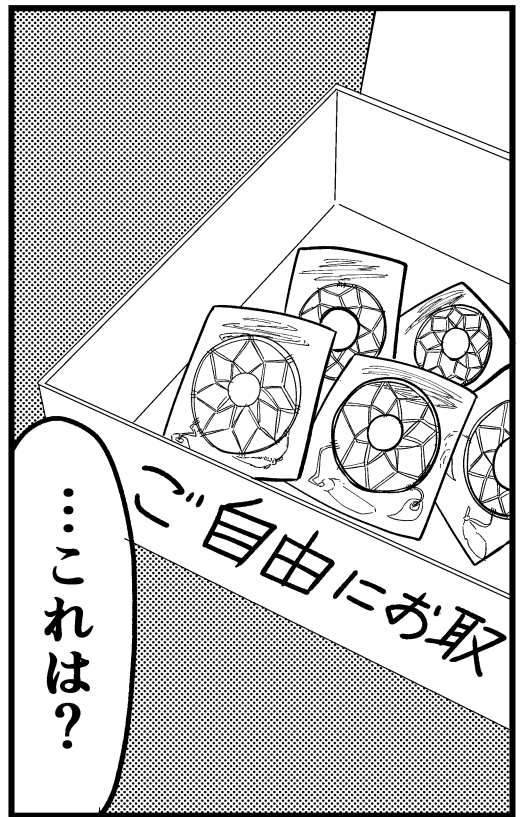




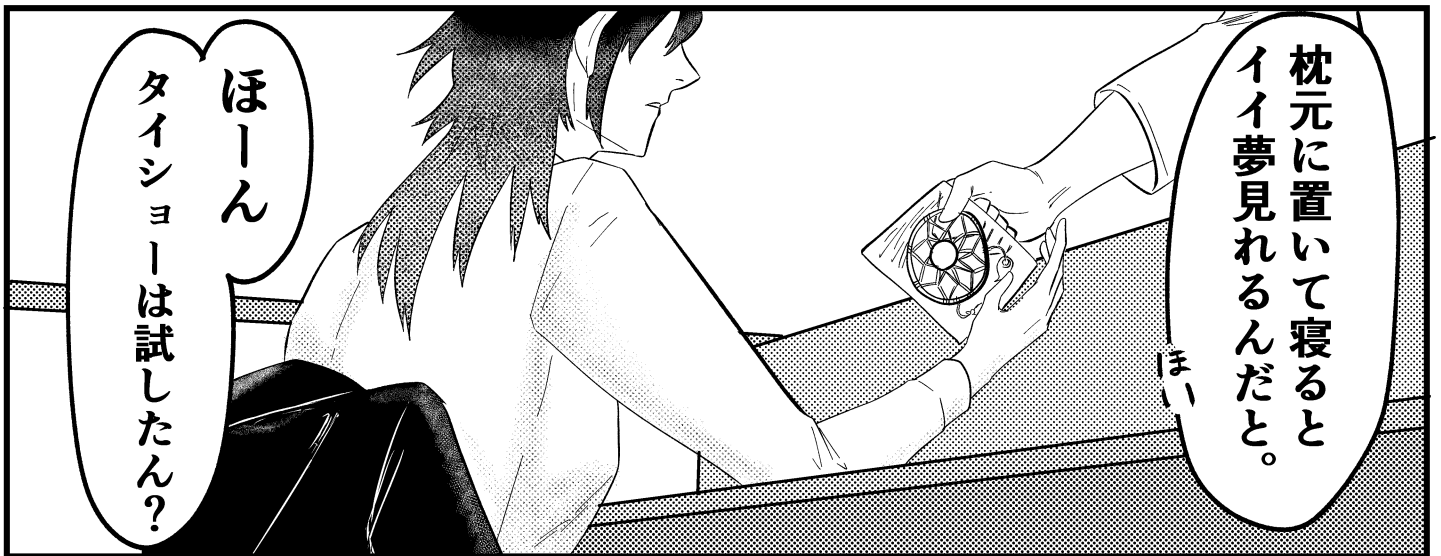
Dream...?

「ドリーム
キャッチャー」

犯してくれって
頼まれたんだ。



...これは？



ほーん
タイショウは試したん？

ほーん

枕元に置いて寝ると
イイ夢見れるんだと。

まー



見たい夢も
あるしね。

丁度。

まあ貰っとくよ。



使っていないからわかんない！

かーん
頼りねー男！

めー

見たい夢？

三十路手前で、性欲に反して
彼氏ナシ出会いの予感ナシ。

いい夢くらい見たくも
なるって。

…三十路って現実
見だす年齢だけどね。

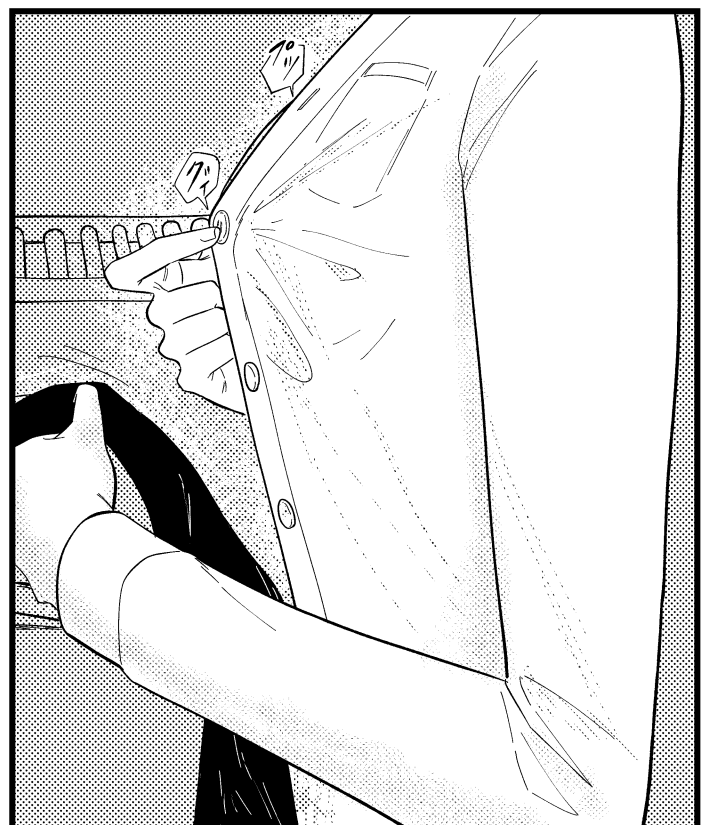
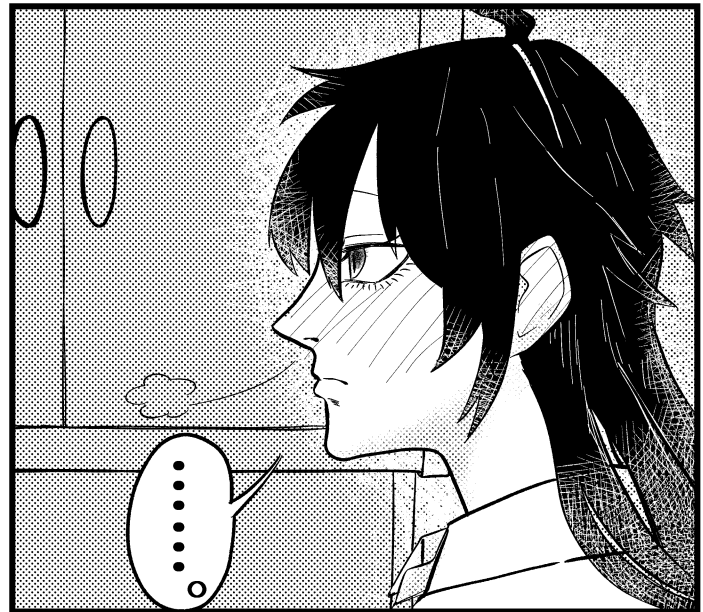
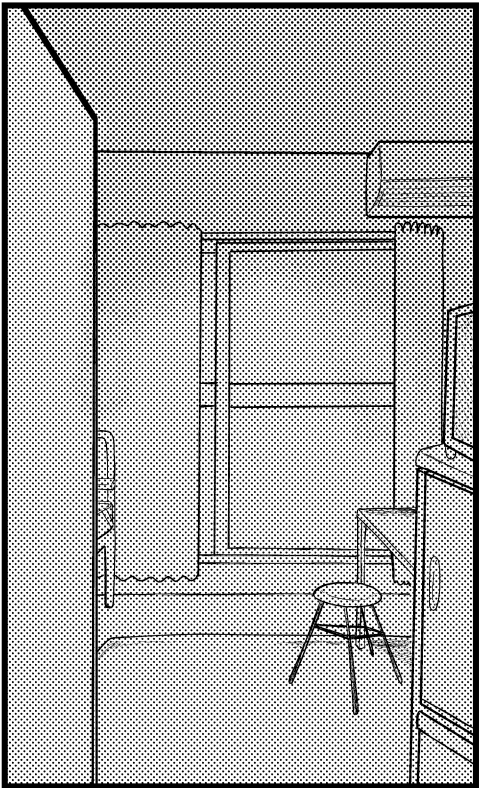
なんちゅう
鋭利な言葉を…

さすがタイショウ！
一生この店ひいきする！

よろしくねー

お詫びに今日の会計は
サービス
割引しとくよ。

ごめんごめん。



日付変わって、

三十歳おめでとう私。

クソツタレ…

風呂は…

明日でいつか。

休みだし。

あ
スーツ
吊るさなきや

まあいつか。

あ、

カギ閉めてないや

……。

まあ…

いつか…

どうでも…

…あー…
この感覚は変な
時間に起きたやつだ

しんど…
まあ、休みの日だし、
まだマシか。

…あれ？

はっ
!!!

カウンター席
!!!

ごめんタイショー！
寝ちゃってた…

わっ！

あ？

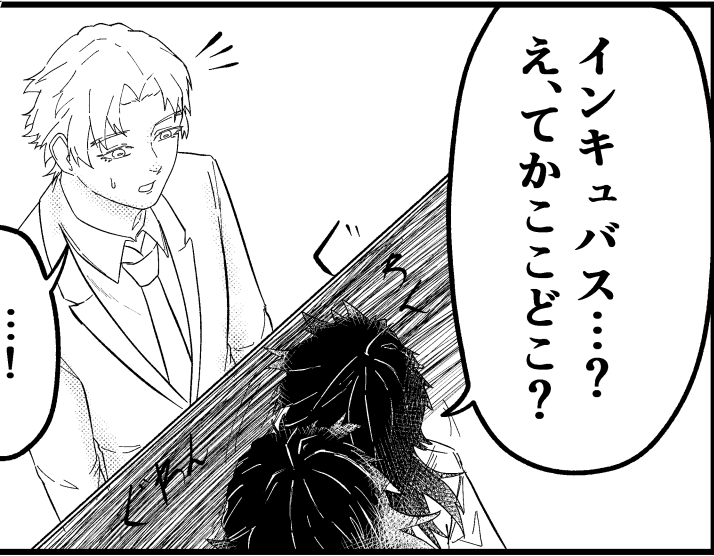


んん…
こんばんわ。

私、インキュバスの
猫屋敷です。



…?
?



インキュバス…？
え、てかここどこ？

…！
あっ！

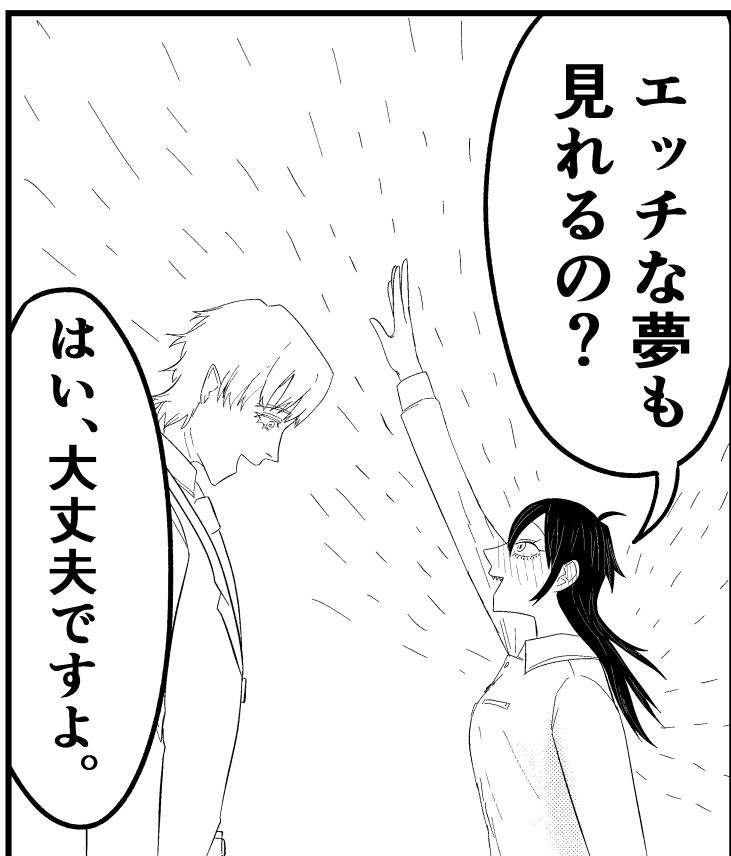
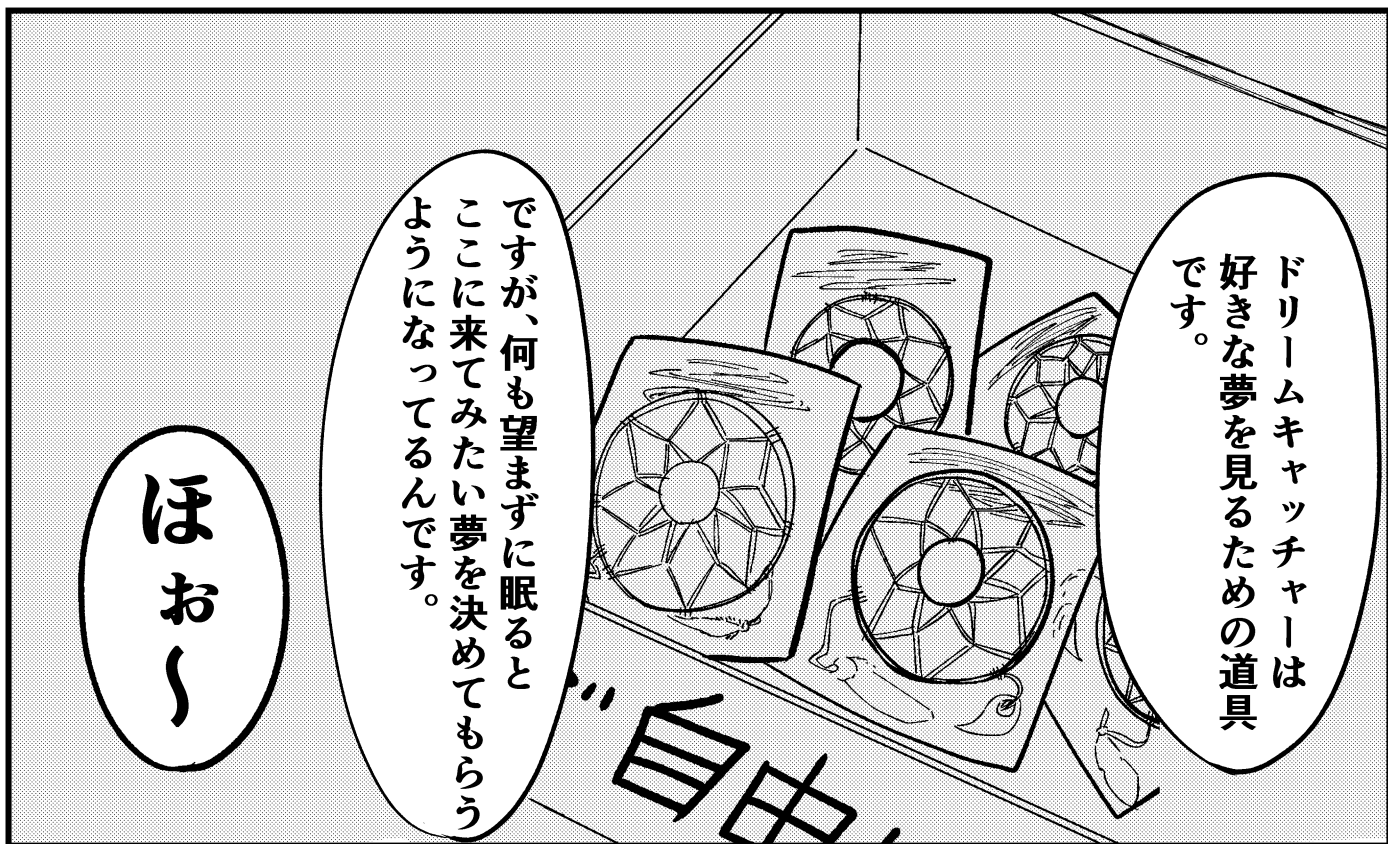


もしかしてドリーム
キャッチャーの説明を
よんでない…

フッ







元来インキュバスは
淫らな夢を見せるものですから。



顔赤く

まさか童貞なの？
イケメンなのに。

いえ、
まだ慣れてない
だけです…

そんなことより！

どんな内容がいいかは
もう考えてますか？



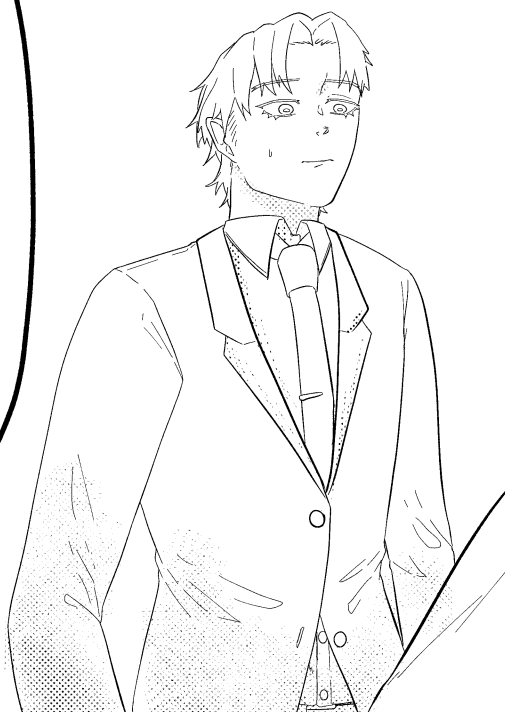
む！

そうだなあ
せっかく夢だし、

現実で味わえない
ようなのがいいな。

私より背が高くって、

優しくリードして
くれて、



そんなもってかっこいい
体つきしてるような…